

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

(仮称)タテロ様倉庫(倉庫兼事務所棟)

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.6	
Q1 室内環境					0.32		-	3.0	
1 音環境				3.0	0.15		-	3.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音		グラスウールを計画した。		3.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0	
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-		
1 昼光率				3.0	0.60		-		
2 方位別開口		南、東の両面に窓がある。			-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.0	0.25		-	3.0	
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の内装建材を使用した。		3.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-	3.2	
1 機能性				3.0	0.40		-	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	0.50		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.50		-		
3 バリアフリー計画					-		-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-		
1 広さ感・景観				3.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		休憩室、喫煙室、仮眠室がある		4.0	0.33		-		
3 内装計画		建物の機能が明確化しており、バースによる内装計画をしている		4.0	0.33		-		
1.3 維持管理				2.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-	2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.2	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				1.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		4.0	0.30	-	4.0
3.1	空間のゆとり		4.6	0.30	-	
1	1 階高のゆとり	階高 7.9m	5.0	0.60	-	
2	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.13	4.0	0.40	-	
3.2	3.2 荷重のゆとり	30kN/m ²	5.0	0.30	-	
3.3	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	
3	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
4	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
5	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	
6	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	
Q3	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.38	-	1.9
1	1 生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	1.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮	-	1.5	0.30	-	1.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	1.0	0.50	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	
LR	LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.2
LR1	LR1 エネルギー		-	0.40	-	3.5
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI 0.64	5.0	0.20	-	5.0
2	2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化	BEI 0.57	3.3	0.50	-	3.3
	集合住宅以外の評価		3.3	1.00	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
4	4 効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
LR2	LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	2.9
1	1 水資源保護		3.0	0.20	-	3.0
1.1	1.1 節水	-	3.0	0.40	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	3.0
2.1	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.11	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.22	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		2.5	0.20	-	2.5
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避	-	2.3	0.70	-	
1	1 消火剤	-	2.0	0.33	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	-	2.0	0.33	-	
3	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.33	-	
LR3	LR3 敷地外環境		-	0.30	-	3.1
1	1 地球温暖化への配慮	緑地を設けている	4.0	0.33	-	4.0
2	2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	2.5
2.1	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
1	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	
2	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
3	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	3.0
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
1	1 騒音	-	3.0	0.33	-	
2	2 振動	-	3.0	0.33	-	
3	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	
1	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	
2	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	
3	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	
3.3	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

(仮称)タテ口様倉庫【倉庫兼事務所棟】

[illegible]

主な指標

Q1 室內環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-	
U値(W/m ² K)	窓システム 6.3	屋根 0.4	外壁 0.5	床 -
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	η AC -	η AH -
曙光率	1.5%			
自然換気有効開口面積率	3.3%			

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換氣性能

執務スペース	6.0㎡ /人	病床	8.0㎡ /床	シングル	15.0㎡ ツイン	22.0㎡
コンセント容量	30.0 VA/㎡					
天井高	2.5 m					
リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%			

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構綠化指數	4%	建物綠化指數	0%
空地率	20%	水平投影面積率	0%
		地表面對策面積率	5%
		鋪裝面積率	0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.64	断熱等性能等級	等級4 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%
		採光を満たす住戸数	80.0%

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

集合住宅の評価

BEI/BEIm	再工本有	0.57	無	0.57	材料再工本有	0.30
一次工率削減率	再工本有		無	100%		

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比		44% 隣棟間隔指標Rw 0.40			
地表面対策面積率	7.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%
見付面積Sb	40,000㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	200 m	基準高さHb	450 m
緑地	489㎡	水面積Ss	300㎡	高反射対策面	200㎡
		保水性対策面	300㎡	高反射対策面	300㎡